

5/8(土)聖火ランナーとして～池島への思いを胸に～

昨年度行われる予定だった東京オリンピック・パラリンピック。今年の開催に向けて、現在、聖火リレーが実施されています。5月7日(金)～8日(土)の両日は、長崎県で実施されました。2日目、池島っ子が西海市で聖火ランナーを務めました。

昨年度、聖火ランナーに任命され、「多くの人、特に池島の人たちに元気を届けたい」という強い思いと、周りの人たちの優しさやそれに対する感謝の思いを抱きながら、様々な取り組みを続け、この日を迎えることができました。

当日は、過ごしやすい好天気。コースとなった場所には池島っ子の応援に駆けつけた人々が集まりました。家族や親戚の皆さんをはじめ、昨年度まで勤務された2名の先生方を含む私たち教職員も、彼の走る姿を見ることができました。

池島っ子は、あらかじめ別の場所に待機していたのですが、スタート地点に到着するまでかなりの時間があり緊張した状態が長く続いたようです。しかし、いざトーチを手にした後は、そのような心配をよそに笑顔で手を振りながら、堂々と走る姿を見せてくれました。

わずか数分ではありましたが、本当に感動する場面でした。

彼が昨年度大会組織委員会に提出した志望動機には、次のようなことが記されていました。



「自分がコントロールできないことを嘆くより、自分の可能性に向かって努力することが大切だ。」と、今年度学校を訪れてくださったパラリンピアンの方から教えていただきました。(略)人の優しさや感謝する心の大切さを実感するとともに、芦田選手の心の強さに改めて感動しています。再び「島民の皆さんや島外に出た方々、そしてコロナ禍で大変な思いをしている方々にも元気を届けることができる。」と考え、芦田選手の言葉のように、自分ができることを精一杯がんばろうと思っています。

自分ができることを精一杯。この言葉通りのがんばりを見せてくれました。一生懸命な姿は、必ず周りに何かを与えます。この日の出来事は、そこにいた人々に、一生の宝物になるようなものを与えたのではないのでしょうか。また、実際に走った本人にとっても、今後の自信につながるものを手にしたのかもしれない。

私自身も、大いに刺激をもらったと感じています。がんばろうという前向きな気持ちになっています。池島の子供たちがこれからも様々なことに挑戦し、多くの経験を積むことができるよう力を尽くしたいと思います。

今年度の学校テーマ(合言葉)

「まずやってみる、そして考え、またやってみる。できる！できる！不可能を可能にしよう。」